

(株) 東京エネルギーサービス
経済産業省「関東経済産業局長賞」受賞
～ 省エネ推進の取り組みを評価 ～

サッポロ不動産開発株式会社（本社：東京、社長：生駒俊行）は、子会社である株式会社東京エネルギーサービス（本社：東京、社長：佐藤弘人）が、この度、経済産業省 関東経済産業局が主催する平成29年度エネルギー管理優良工場等の表彰において、「関東経済産業局長賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

本表彰は、関東経済産業局が毎年2月の「省エネルギー月間」に合わせて、省エネルギーの一層の普及促進を図るために、省エネルギーへの貢献度が顕著であった優良事業者等を表彰するものです。

(株) 東京エネルギーサービスは、当社所有の複合商業施設「恵比寿ガーデンプレイス」がオープンした1994年から永年に亘り環境に優しい省エネ型の地域冷暖房事業によるエネルギーの面的利用を推進してきました。そして、開業後20年が経過し、設備更新時期を迎えるにあたり、省エネ性・環境性の向上を目的として、多缶式小型貫流ボイラーの導入やガスエンジンコージェネレーションシステム及びジェネリンクの導入など、高効率設備へと更新し、更なる省エネ推進に取り組みました。その結果、一層のエネルギー使用量の削減が実現でき、このことが高く評価され、この度の受賞に至りました。また、運用面においても、年間のエネルギー削減目標の達成状況を定期的に確認・評価し、継続的なエネルギー使用の合理化に努めているとともに、このような省エネ対策事例を公表するなど外部への貢献に対しても評価をいただきました。

今後もエネルギーの有効利用に努めていくとともに、事業活動が与える地球環境への負荷低減を図り、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

(※) コージェネレーションシステムとは、燃料を用いて発電する一方、その排出ガスの排熱を利用して給湯・空調などの熱需要を賄う、エネルギーの効率的運用システムのこと。

